

完了後の評価個表

整理番号	森5-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	岡山県
地区名	まにわし 真庭市	事業実施主体	岡山県、真庭市、おかやまの森整備 公社、真庭市森林組合等
関係市町村	真庭市	管理主体	岡山県、真庭市、おかやまの森整備 公社、真庭市森林組合等
事業実施期間	H16~H20（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 真庭市は、岡山県北部中国山地のほぼ中央に位置しており、市の北部は鳥取県に接し、南部は岡山県の中央地域近くまで達する。南北約50km、東西30kmに渡る広さで岡山県全体の約11.6%に相当する約828km²の面積を持っている。市の中央を県下三大河川の旭川が貫流、その水源地ともなっている。</p> <p>② 森林の現況 市の北部は中国山地の1,000m級の山々に囲まれたなだらかな高原地形を形成しており、中南部は旭川、備中川等の周辺に平坦地が開け、市街地を形成している。森林面積は65,641ha（森林率79.2%）で、このうち民有林が58,671ha、人工林が33,873ha（人工林率51.7%）となっており、県平均の人工林率39.5%を大きく上回っている。また、市の中部を中心に、古くからヒノキを主体にした造林がなされ、木材等生産活動が積極的に実施されている人工造林地帯である。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 市内には、原木市場（3箇所）、製材所（約30社）、製品市場（1箇所）等があり、素材生産から加工・流通まで一貫した体制が整い、木材の集積地として西日本有数の規模を誇っている。近年、用材以外の木材等を燃料として加工する集積基地が稼働したことで、地域の林地残材の搬出が進み、木質資源の循環利用を図るなど、バイオマスタウン真庭としての取り組みが行われている。 こうしたことから、本事業を実施したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 372ha 下刈 2,353ha 除間伐 3,466ha</p> <p>林道整備</p> <p>① <small>かわかみいちごう</small>川上1号線 車道幅員 5.0m 開設延長 1,030m 利用区域面積 587ha</p> <p>② <small>さだひろほうだいじ</small>定広法大寺線 車道幅員 4.0m 開設延長 609m 利用区域面積 99ha</p> <p>総事業費 2,229,826千円 (当初総事業費 4,517,750千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成26年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>26,871,361千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>55,086,159千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>7,734,252千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>9,029,762千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>3.47</td> <td>(事業採択時</td> <td>6.10)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	26,871,361千円	(事業採択時	55,086,159千円)	総費用 (C)	7,734,252千円	(事業採択時	9,029,762千円)	分析結果 (B/C)	3.47	(事業採択時	6.10)
総便益 (B)	26,871,361千円	(事業採択時	55,086,159千円)										
総費用 (C)	7,734,252千円	(事業採択時	9,029,762千円)										
分析結果 (B/C)	3.47	(事業採択時	6.10)										

② 事業効果の発現状況	<p>① 本事業で植栽されたヒノキや広葉樹等の成長は良好で、除間伐を行った箇所とともに、木材生産機能を高度に発揮し、地域の主な産業である木材産業の発展に大きく貢献すると期待される森林が整備された。</p> <p>② 平成16年台風23号の強風により倒木した森林では、倒木の処理、地拵えの後、災害に強い針広混交林を造成することにより、山地保全機能などの公益機能が発揮されている。</p> <p>③ 当事業で整備された森林の一部は伐期を迎えており、樹木内に固定された炭素はバイオマス燃料として利用され、化石燃料の使用による二酸化炭素の発生を抑制するとともに、再造林を行うことにより、森林の炭素固定量を増加させている。</p> <p>④ 林道開設により、森林へのアクセスが容易となり、森林施策が増加している。また、散策やレクリエーション活動を行う人が増加している。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>① 当事業で整備された森林は、長期施行委託を受けた森林組合、おかやまの森整備公社や真庭市等により適正に管理されている。</p> <p>② 当事業で開設された林道は、真庭市の林道維持管理規定に基づき適正に管理されている。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	針広混交林を造成することにより、多様性のある森林に誘導され、野生動植物の生息・生育環境の改善が図られている。
⑤ 社会経済情勢の変化	森林が整備されることにより、地域の重要な産業である製材業の活性化が図られている。特に、地域で発生する木材を燃料とした発電など先進的な取り組みによりバイオマスタウンに真庭市が指定されたことにより、バイオマスタウンなど林業以外の産業にも大きな影響を与えている。
⑥ 今後の課題等	長期の木材価格の低迷に対応するため、施業の集約化によるコストダウンが重要な課題となっている。 また、木質バイオマスの活用が盛んになることにより、森林所有者の森林整備に対する関心を取り戻すとともに、利益を森林に還元する必要がある。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 当事業の実施後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されており、森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていることから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、集約化、機械化によりコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 森林整備により、地域産業である木材産業の活性化が図られていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

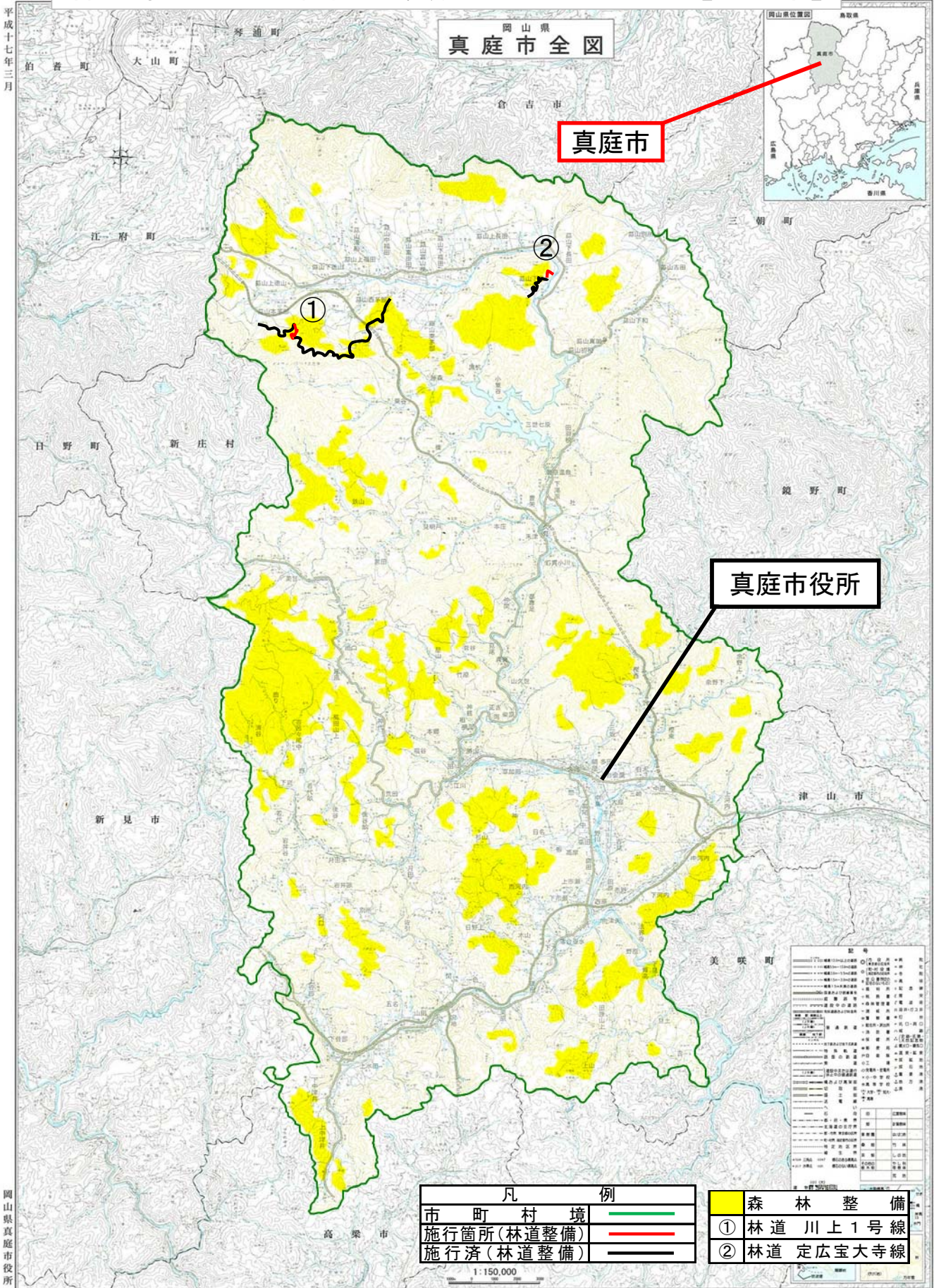
都道府県名:岡山県

地域(地区)名:真庭市^{まにわし}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,476,106	
	流域貯水便益	2,120,494	
	水質浄化便益	5,307,850	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,422,425	
	土砂崩壊防止便益	7,173	
環境保全便益	炭素固定便益	1,312,402	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	3,041	
	木材利用増進便益	28,897	
	木材生産確保・増進便益	2,632,050	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,599	
	森林管理等経費縮減便益	119	
	森林整備促進便益	559,205	
総 便 益 (B)		26,871,361	
総 費 用 (C)		7,734,252	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,871,361}{7,734,252} = 3.47$		

森林環境保全整備事業 真庭市地区 概要図【岡山県】



岡山県
真庭市全図

真庭市

真庭市役所

凡 例	
市 町 村 境	———
施行箇所(林道整備)	———
施行済(林道整備)	———

	森 林 整 備
①	林道 川上1号線
②	林道 定広宝大寺線

1:150,000

平成十七年三月

岡山県真庭市役所

この地図は、国土院院長の承認を得て、国院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平16 中環 第193号)